

構造改革と新たな成長戦略

- 富士通の中期ビジョン -

2001年8月20日

富士通株式会社
代表取締役社長
秋草 直之



現況

市況回復は緩やかなU字型を想定

市場環境の一段の質的变化

グローバルビジネスの課題の顕在化

今年度の位置づけ

徹底した構造改革の年

プロダクトビジネスの競争力強化
ゼロ成長を前提とした事業構造改革

将来に向けた新技術 新事業展開の年

ソフト・サービスの新しい成長戦略
新技術開発へのさらなる投資

富士通の事業戦略

新たな成長戦略

ソフト・サービスによる成長戦略

全事業部門のソフト・サービス化の加速
インフラ・サービスへの注力

コア・テクノロジー/プロダクトへの一層の集中

最先端デバイス、光技術、モバイル技術
高信頼性サーバ&ファイル技術、DWDM

グループとしての競争力強化

構造改革

特別損失3,000億円の内訳

対策内容	金額
情報処理グループ	800億円
通信ビジネスグループ	450億円
電子デバイスグループ	1,450億円
ソフト・サービスグループ	300億円
合計	3,000億円

情報処理グループ

コアビジネスの強化

構造改革費用300億円

開発の集中、一元化

UNIXサーバ/ファイル開発: 富士通主体へ

IAサーバ開発: FSC(独)へ

プロセッサ開発: HAL社清算

北米ソフト開発事業

国内工場のスリム化

サーバ/ファイル: 製造拠点の集約(3工場 1工場)

IAサーバ製造: デスクトップPCラインとの統合

情報処理グループ

独立ビジネスの選択と集中

構造改革費用500億円

HDD

サーバ向け/モバイル向けに集中
デスクトップ向けHDDからの撤退

- 海外生産拠点の縮小、販売体制のスリム化
海外(4200人)、国内(300人)

プリンタ:事業の縮小

システムプリンタ製造を富士通周辺機へ集約
カラーレーザプリンタの事業譲渡(ミノルタ合併)

スキャナ: PFUへ事業統合

プリント板 : 国内製造工場の集約

通信ビジネスグループ

構造改革費用450億円

先端製品への集中

フォトニック、IP及び3Gモバイルにリソース集中
低成長ビジネス集約のために国内外関係会社を整理

需要変動対応力強化・低コスト製造追求

小山/那須/沼津工場の人員再配置・スリム化
海外人員削減: 米国FNC、英国FTEL
関係会社の工場再編集約

電子デバイスグループ

コアビジネスの強化

構造改革費用1,250億円
2,400人

あきる野テクノロジーセンターへの開発集中

次世代半導体のあきる野への集中
通信 情報 研究所との協業

製造力強化に向けた国内外工場のスリム化

グレシャム工場のAMDとの合併事業化
国内前工程ラインの統廃合(12ライン 9ライン)
後工程会社の整理統合(7社 5社)

電子デバイスグループ

国内関係会社

構造改革費用200億円
2,700人

事業のスリム化

化合物半導体

SAWデバイス

コンポーネント

PDP: 宮崎工場2番館への集中

LCD: 分社化による事業の効率化

ソフト・サービスグループ

コアビジネスの更なる強化

構造改革費用300億円

グローバル体制の再編

ICL/DMRの再編

事業構造の転換

インフラサービス事業の強化

新事業・新分野への展開

ITコンサルティングの強化

高生産性をめざしたソフト部品化の推進

e-Japan関連ビジネスの強化

グループ人員の削減

人員対策 21,100人 (内削減 16,400人)

海外 11,400人

国内 9,700人

国内人員の対策内容

営業/SEの強化	1,400人
製造力の強化	2,100人
特定スキルの別会社化	1,200人
退職	2,500人
取引先 / 請負の削減	2,500人

固定費の削減

2年間で 2000億円

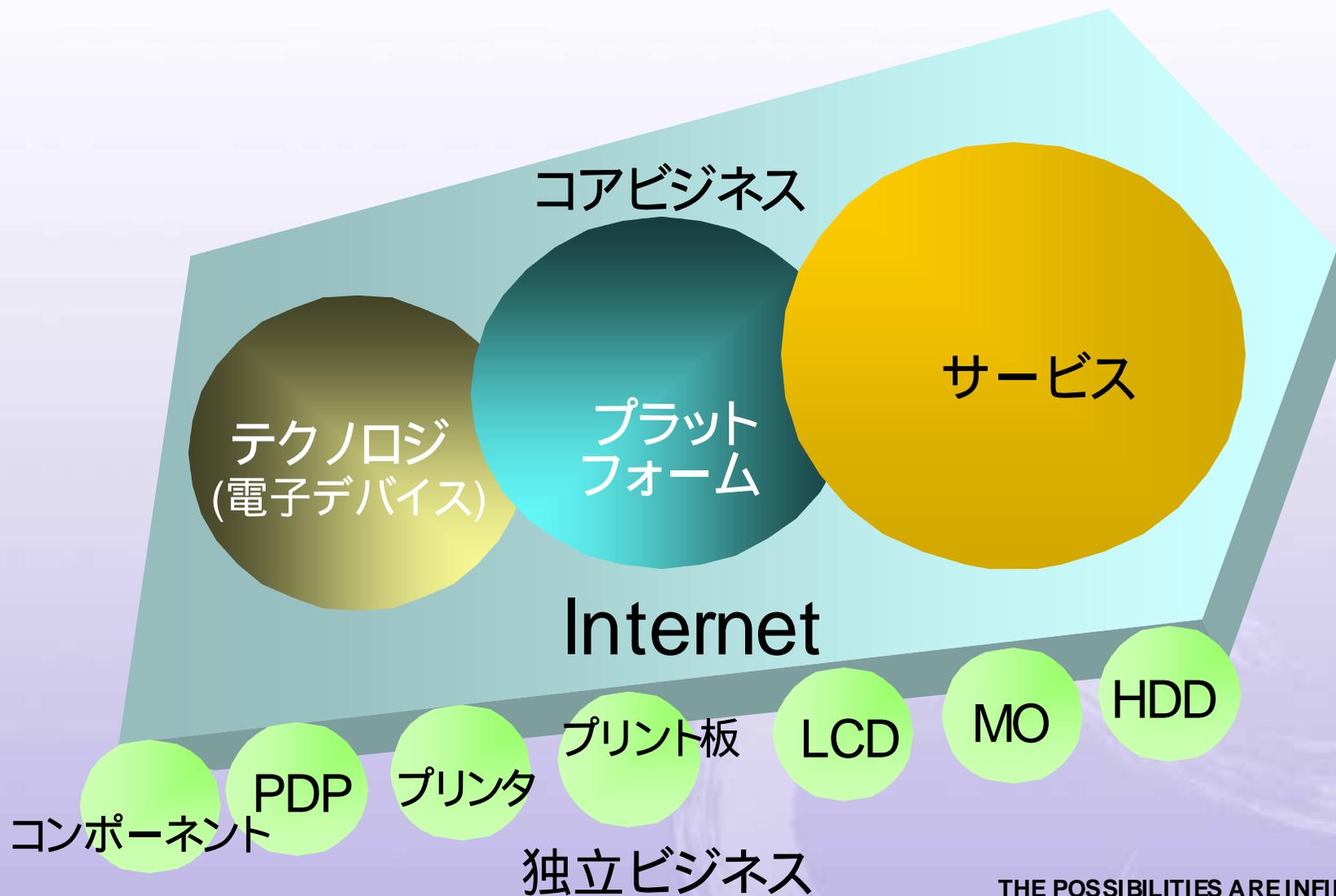
富士通のミッション

“Everything on the Internet”
の新しいステージへ

ブロードバンド・インターネット時代に
中核となるIT企業

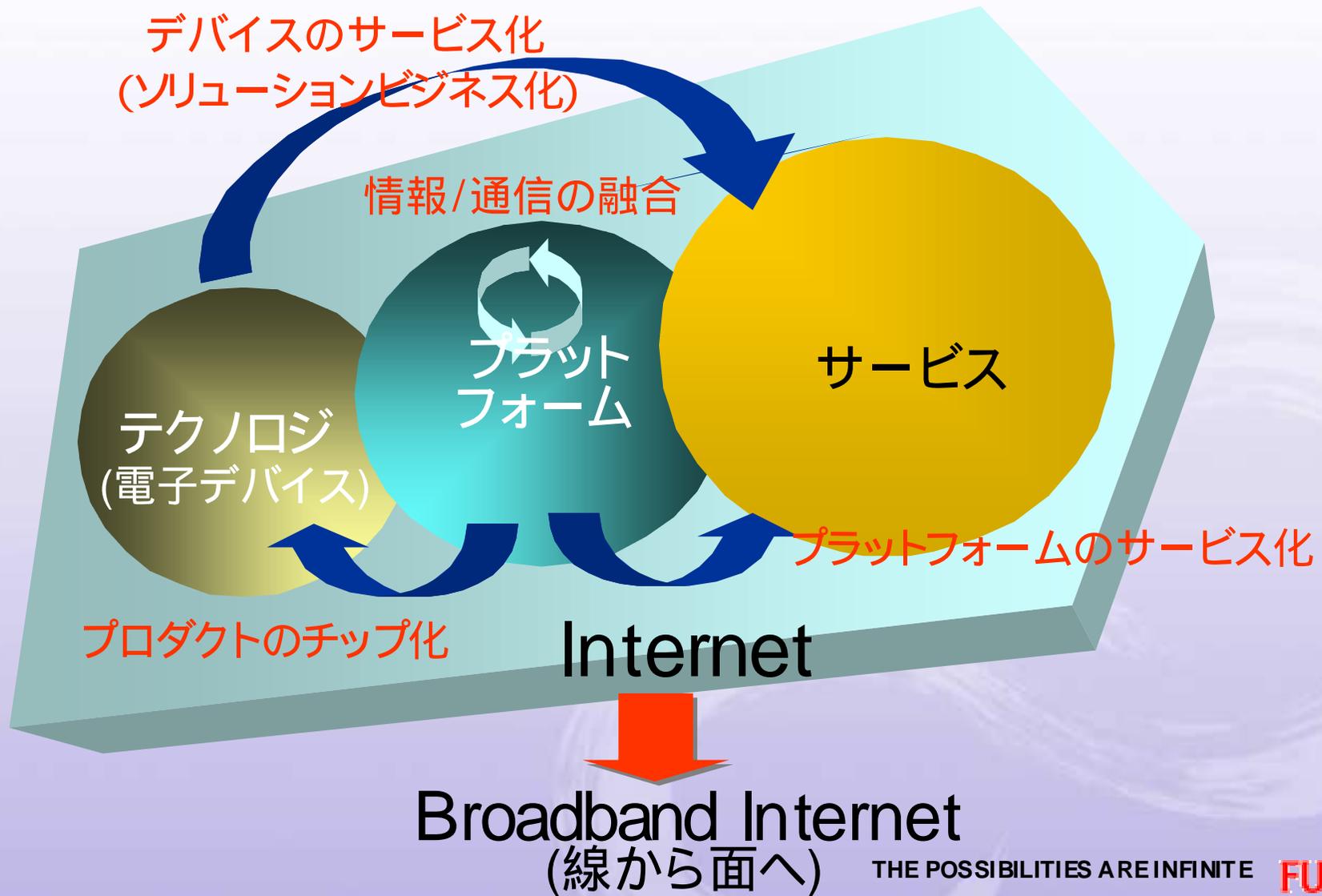
富士通の事業方針

Everything on the Internet



富士通の事業方針

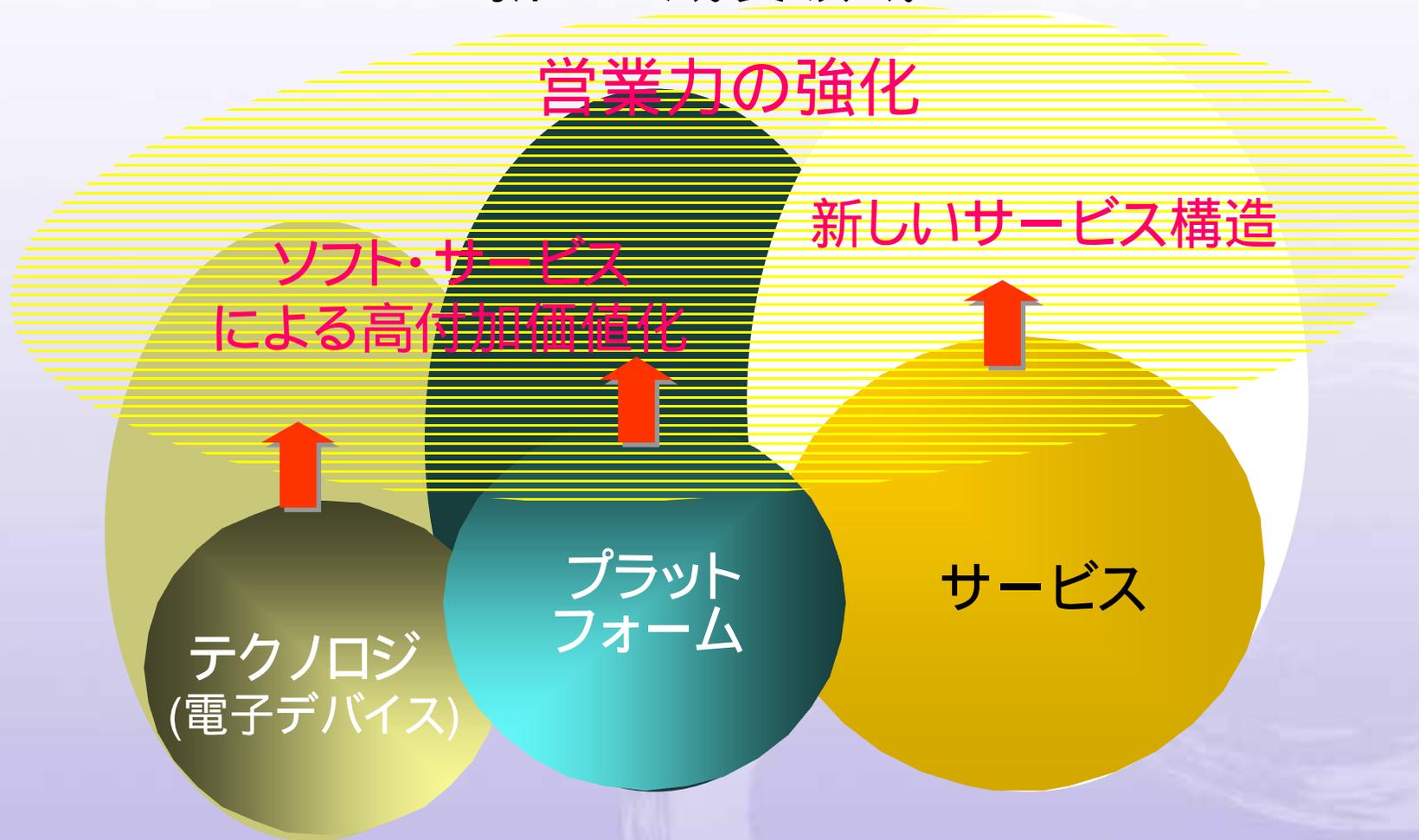
技術の進化と変貌



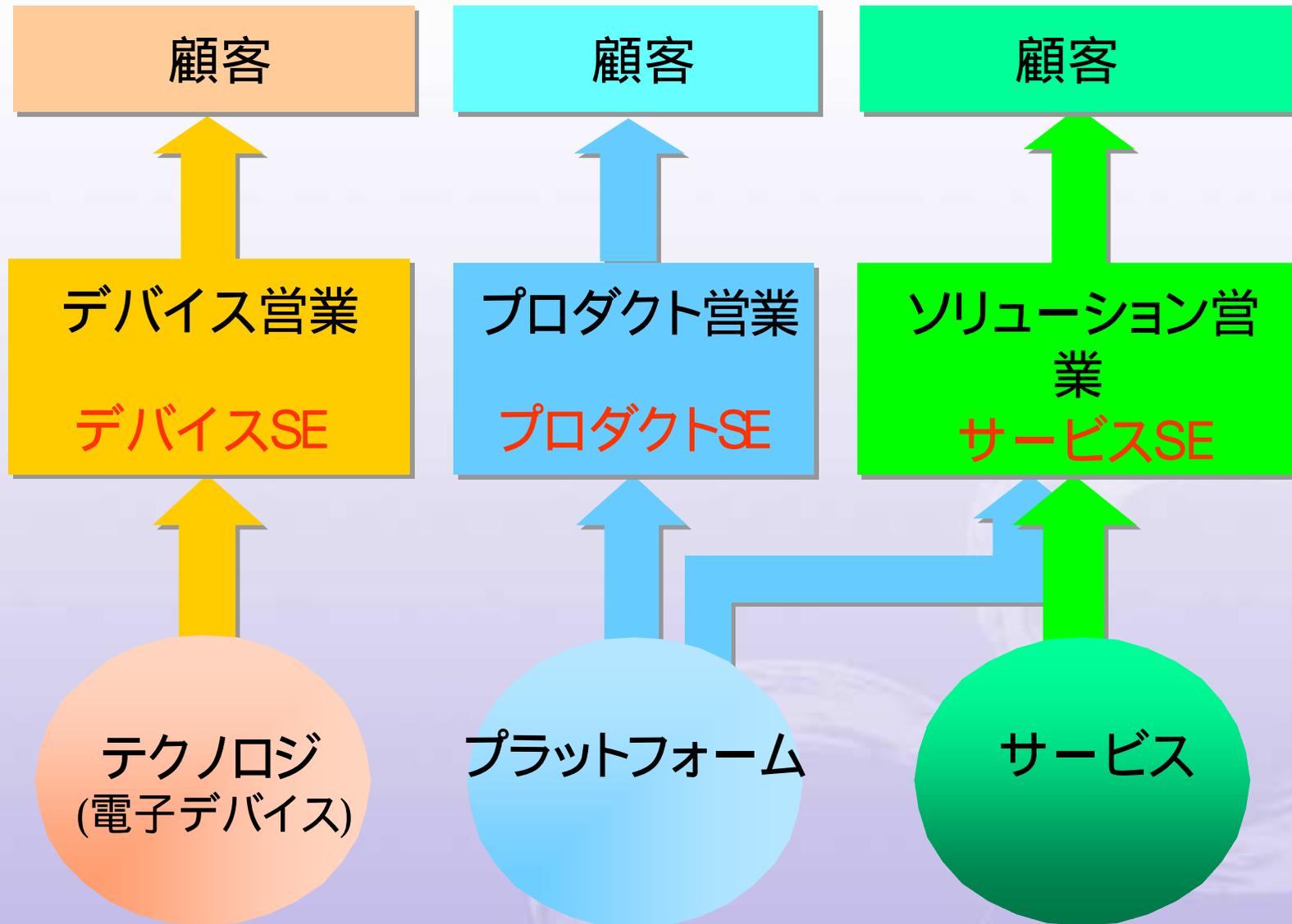
富士通の事業方針

ソフト・サービスによる成長戦略

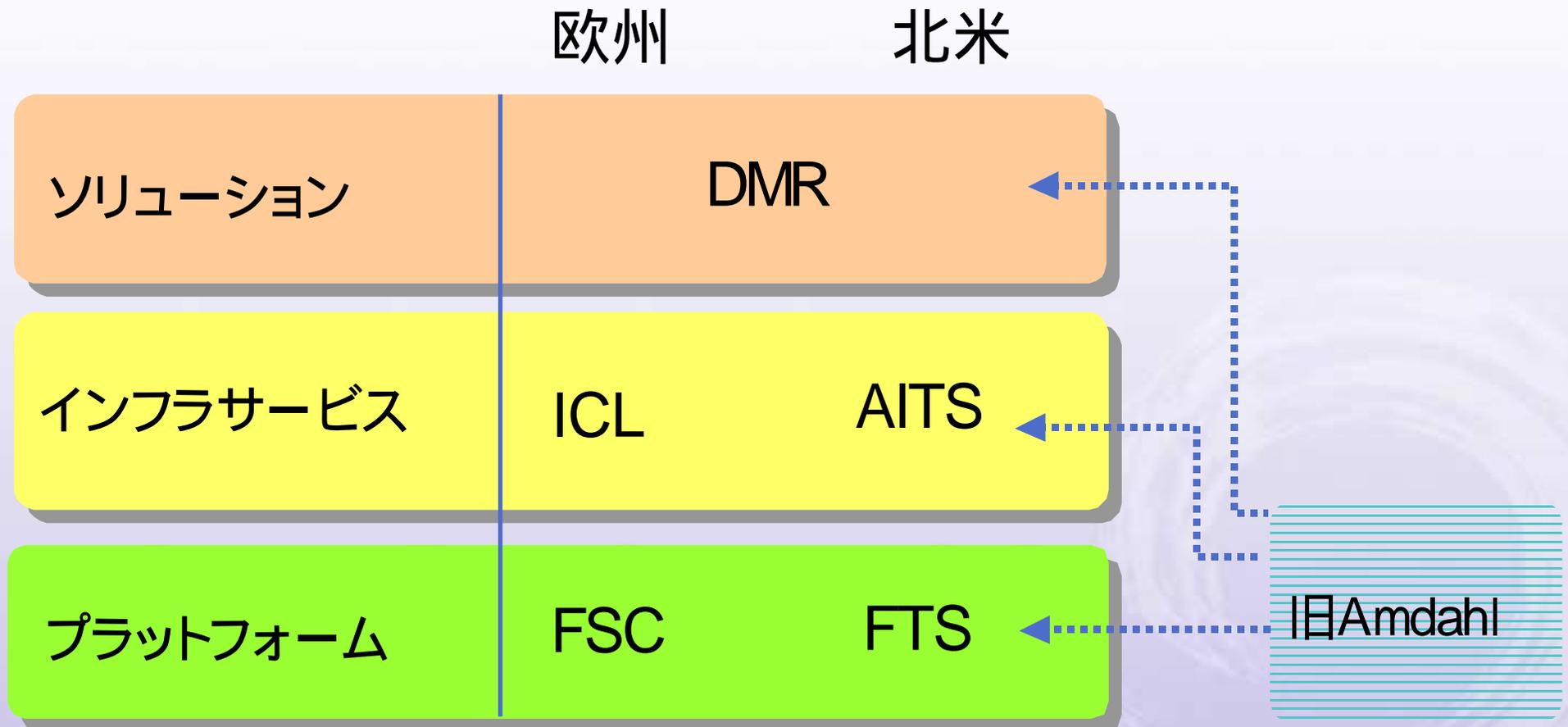
新しい成長領域



ビジネス・フォーメーションの革新



グローバル体制の再編



AITS:Amdahl IT Services
FTS:Fujitsu Technology Solutions
FSC:Fujitsu Siemens Computers

プロダクトビジネスの高付加価値化

ソフト・サービス化の推進

ストレージ・サービス (SSP)
アプライアンス・サーバ
ネットワーク・ソリューション(設計/構築/施行/運用/監視等)
システムLSI(アプリケーション)

体制の強化

ネットワークサービス会社の再編・統合(7月)
欧州ネットワークソリューション会社統合(7月)
プロダクトSEの体制強化

プラットフォームの事業方針

高性能・高信頼プロダクトへの集中

UNIXサーバ(PRIMEPOWER)

ファイルシステム(GR700)

IPルータ(GeoSteram)

大容量・高速光伝送(FLASHWAVE)

ネットワーク融合製品の開発

新世代モバイルクライアント

IPサーバ、メディアサーバ等

電子デバイスの事業方針

No.1プロダクトへの集中

システムLSI

- デジタルAV向けソリューション
- ネットワーク機器向け高性能ASIC

フラッシュメモリ:AMDとの連携強化

光デバイスのモジュール化

先端テクノロジー開発

次世代プロセッサ開発(0.1 μ) 光部品

情報部門 通信部門 研究所の協業

ソフト・サービスの事業方針(従来)

顧客

ITコンサルティング、ビジネス創出

システム
インテグレーション

IDC FENICS

プラットフォーム

電子デバイス

新しいサービス構造

顧客

強化

ITコンサルティング、ビジネス創出

ローカル

構造
変化

システム
インテグレーション → サービス
インテグレーション

新分野
(投資)

xSP データ保管 ネット監視 教育・・保守
(ネットワークで提供されるサービス)

強化

B-IDC B-FENICS

プラットフォーム

電子デバイス

グローバル

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

FUJITSU

グループ活動

Qfinity活動の推進



製品・サービス品質(信頼性、納期)の追求

棚卸資産効率化の追求

人材

社内セーフティネットの構築

柔軟な職種転換(営業/SEへ千人規模)
キャリア・センター
ネクストキャリア・プログラム等

成果主義の新しい展開

高い目標の設定
プロセス重視の視点の追加

人材育成

GKI(Global Knowledge Institute)プログラム(年2回)
人材育成センターの拡充等

IT活用

スピードと効率の追求

情報化投資(対売上2%)の維持

グループベースの統合経営管理システムの再構築
SCM/CRM
全社ナレッジマネジメントの推進

エンジニアリング系の情報化投資の強化

CAD/CAM/品質管理/シミュレーションシステムへの注力

ソフトウェア開発生産性の向上へのIT活用

ナレッジマネジメント(ソリューションバンク)の推進
ソフト部品化率(EJB)の向上

組織マネジメント

コーポレート機能の強化

“融合”と“連携”の追求

IT全体を見渡せる強みを活かす
(XML、IPv6、Linux・・・)

有機体経営(長屋経営)

部門を超えたコラボレーション

富士通の事業戦略

新たな成長戦略

ソフト・サービスによる成長戦略

全事業部門のソフト・サービス化の加速
インフラ・サービスへの注力

コア・テクノロジー/プロダクトへの一層の集中

最先端デバイス、光技術、モバイル技術
高信頼性サーバ&ファイル技術、DWDM

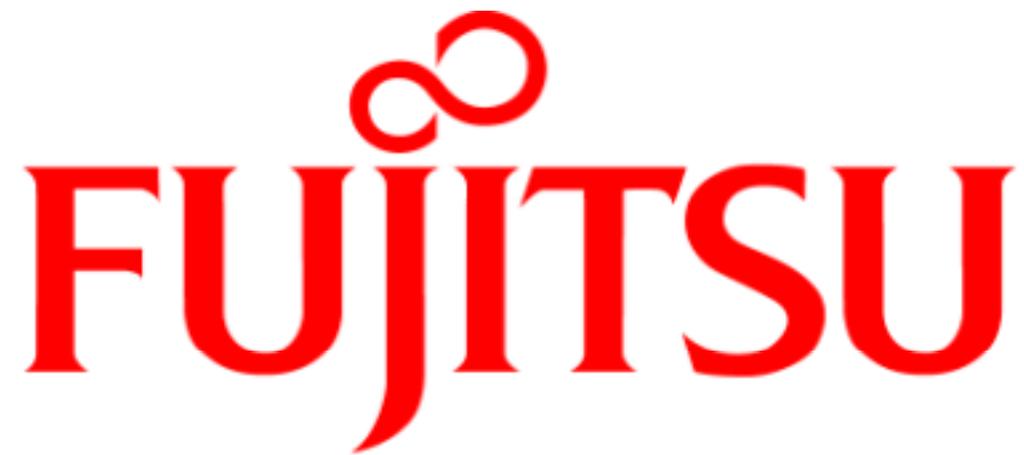
グループとしての競争力強化

2003年度 経営目標

営業利益 4,000億円

棚卸資産の半減 5,000億円

ROE10%

The Fujitsu logo consists of a red infinity symbol positioned above the word "FUJITSU". The word "FUJITSU" is rendered in a red, serif typeface with a classic, slightly condensed appearance. The infinity symbol is a simple, clean line drawing.

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE